

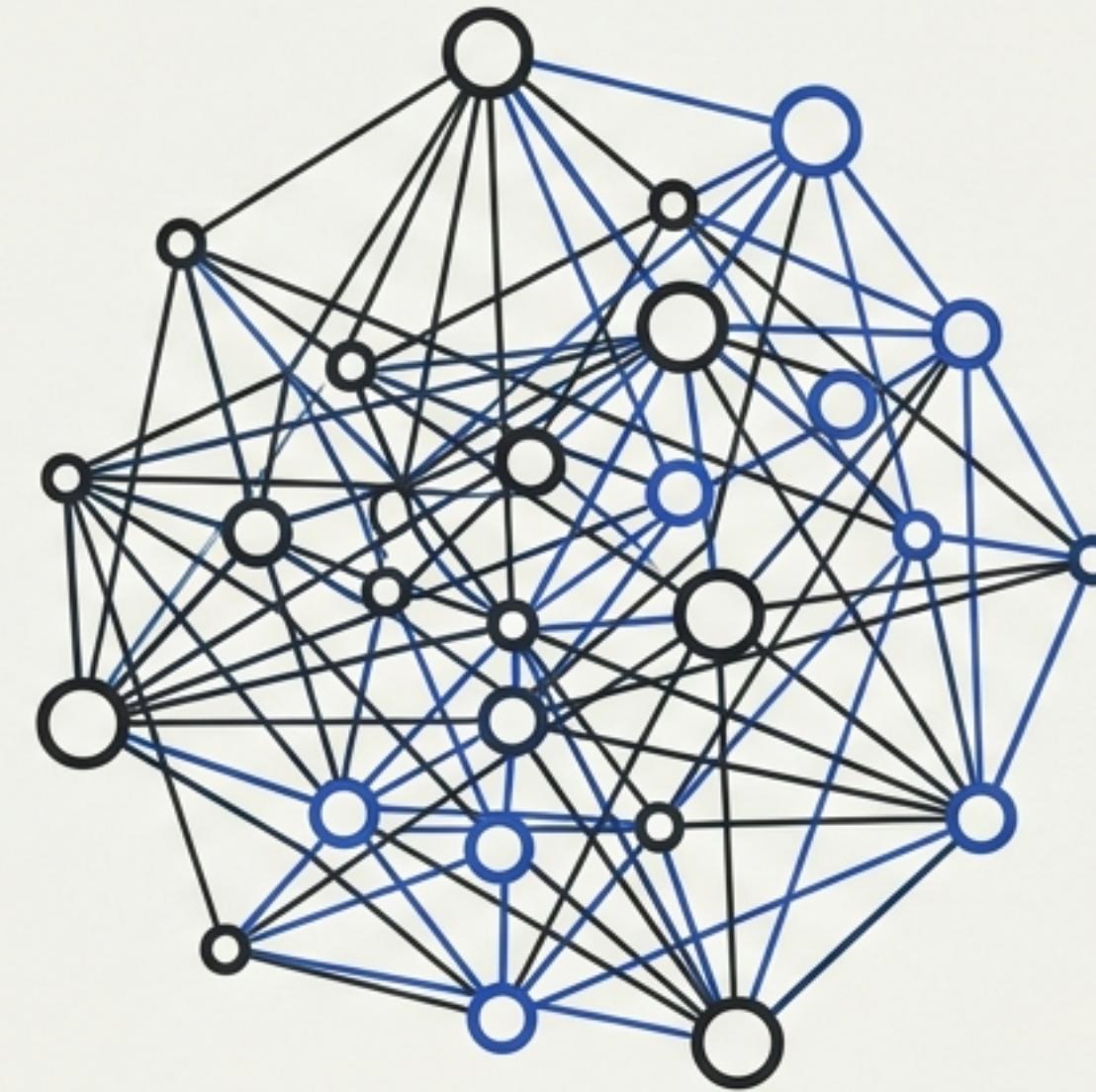
正しいプロンプトの書き方のコツ

30日でAIを「道具」から「思考のパートナー」に変えるロードマップ

メンタルモデルの転換



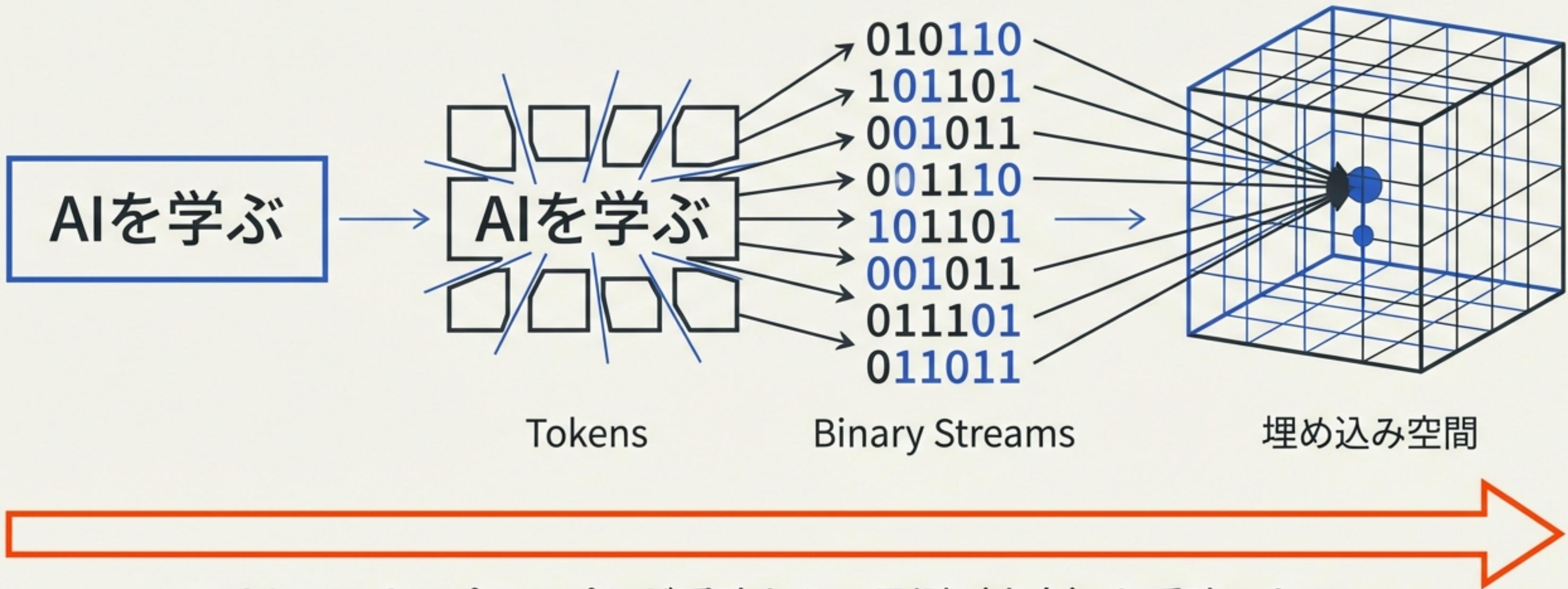
誤：会話（対人コミュニケーション）



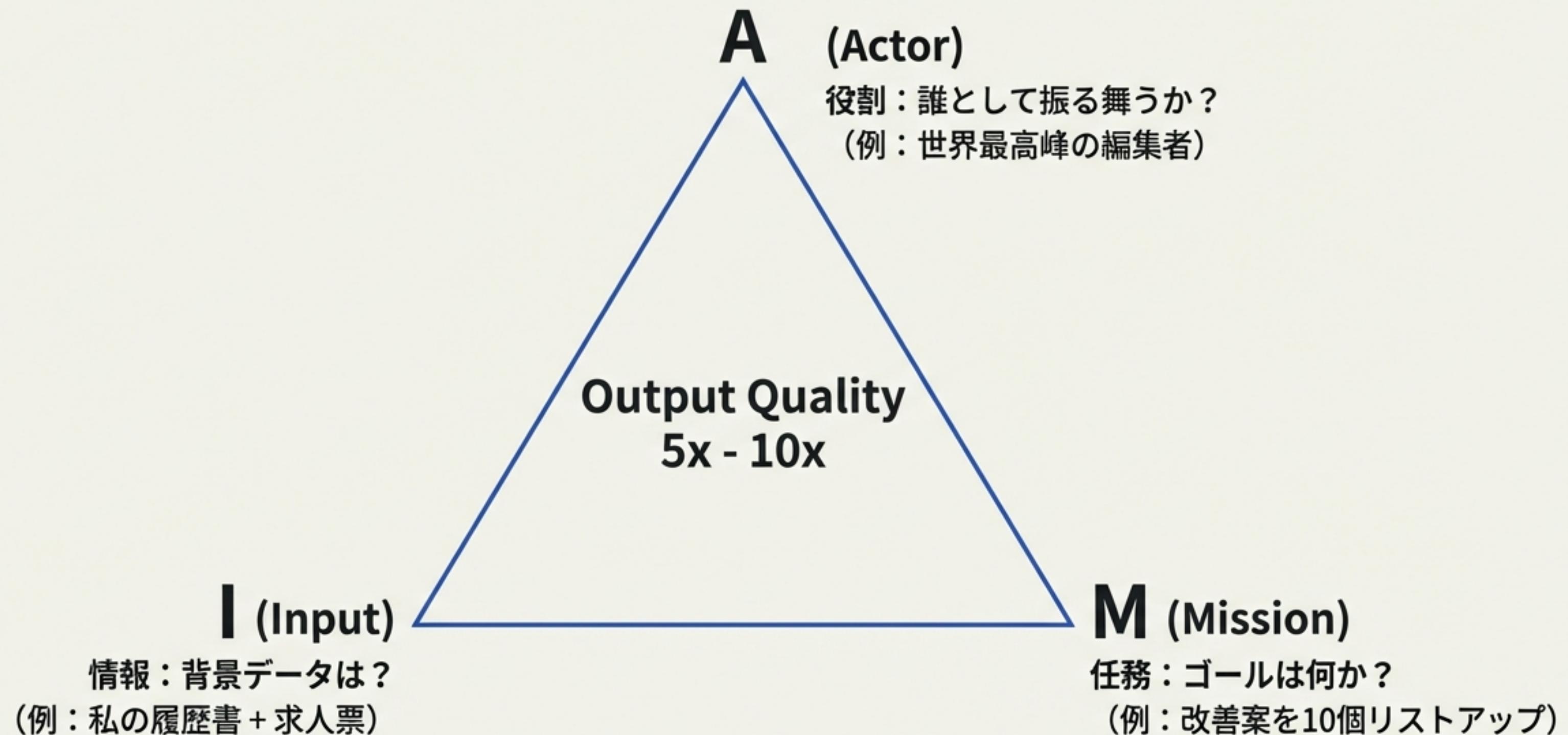
正：確率計算（プログラミング）

AIは記憶から答えを出しているのではない。
文脈から「次に続く確率が最も高いトークン」を計算しているだけだ。

Week 1: マシン・イングリッシュ (機械語)



完璧な依頼を構成する: AIMフレームワーク



自分の「楽器」を選ぶ

ツールを往復せず、一つのモデルのテンポを習得する



ChatGPT

最も成熟したオールラウンダー。汎用性が高い。



Gemini

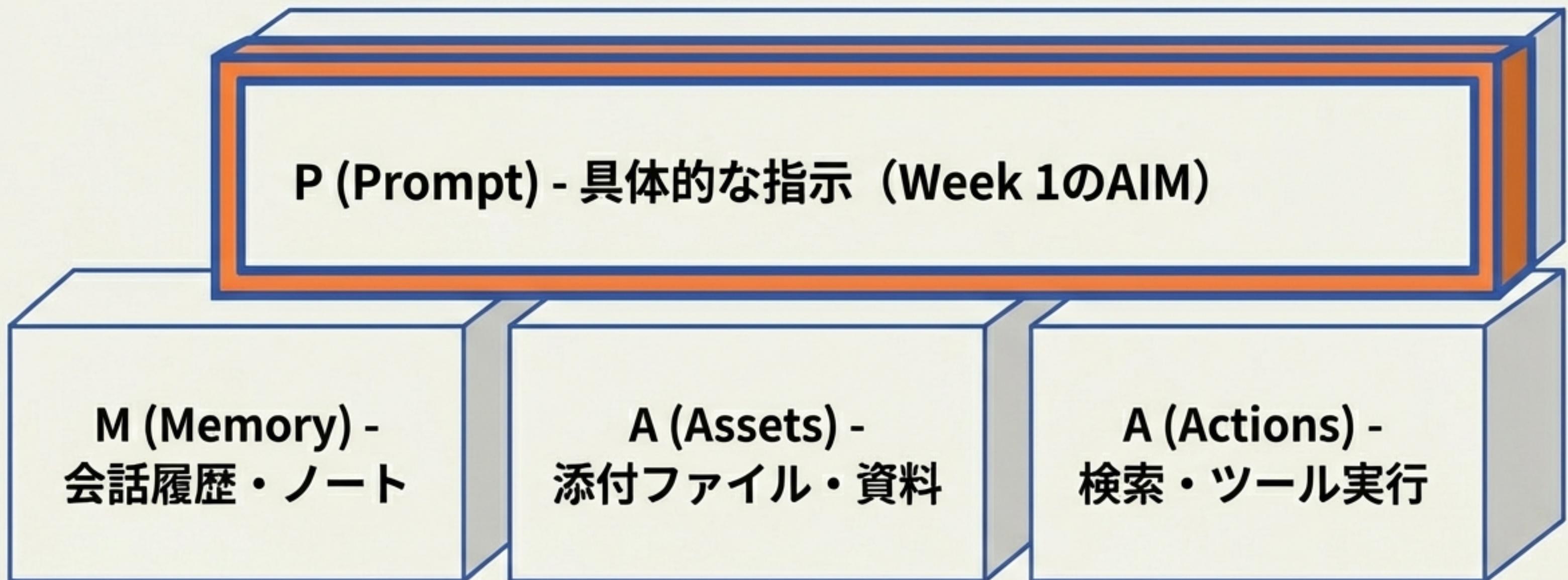
Googleエコシステムの統合。検索との連携。



Claude

文章の自然さと論理構成。ビジネス・プロジェクト管理。

Week 2: コンテキストという地図 (MAP)



MAPがないと、AIは埋め込み空間で迷子になる（ハルシネーションの原因）。

ユーザー自身のデバッグ（反復）

回答が悪いのは、プロンプトが悪いからだ。以下の3つの「チートコード」を使う。

Chain of Thought（思考の連鎖）

「ステップバイステップで考えて。最終回答の前に根拠を示して。」

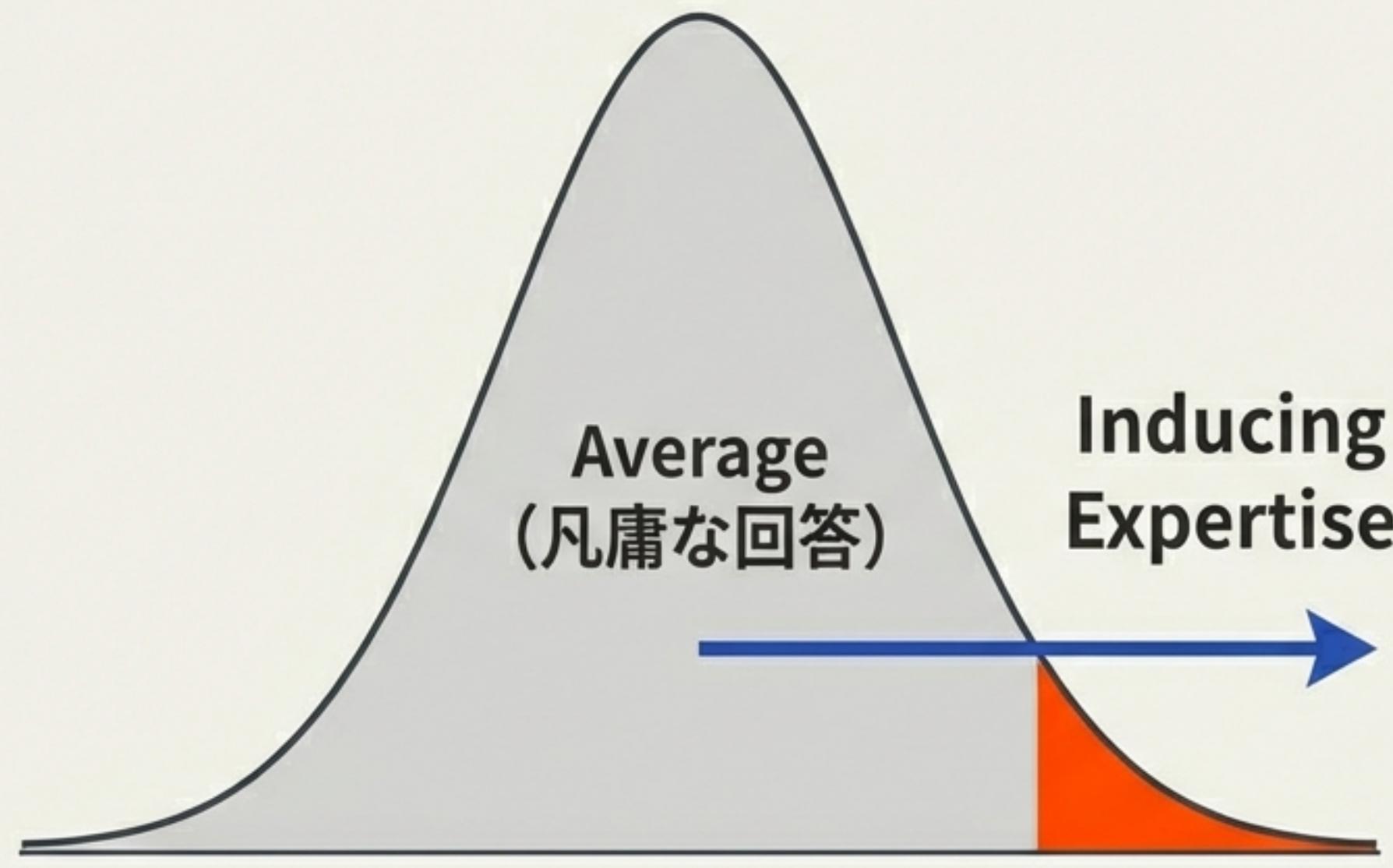
Verifier Pattern（検証パターン）

「私の意図を明確にするために、回答する前に私に3つ質問をして。」

Refinement Pattern（洗練パターン）

「答える前に、私の質問をもっと鋭くしたバージョンを2つ提案して。」

Week 3: エキスパートへの誘導



Knowledge Edges

1. ピクサーの『ブレイントラスト』フレームワークを用いて...
2. サティア・ナデラの経営戦略を基に...
3. ハーバードの研究結果を引用して...

信頼せよ、されど検証せよ (Audit)

01

Assumption (仮定)

回答の前提条件をリストアップし、確信度をランク付けさせる。

03

Sources (ソース)

あえて反対意見を持つ信頼できるソースを探させる。

03

Counter-evidence (反証)

あえて反対意見を持つ信頼できるソースを探させる。

02

Sources (ソース)

独立した2つの情報源とURLを明示させる。

04

Audit (監査)

計算プロセスやコードを表示させる。

05

Cross-Model (クロス検証)

ChatGPTの回答をClaudeに批判させる。

Week 4: 独自の「感性」を磨く (OCEAN)

O	Original (独創性)	誰も考えたことがない視点を3つ出す。
E	Concrete (具体性)	すべての主張にし、実在の事例を添える。
A	Evident (明白な根拠)	結論の前にロジックを提示する。
N	Assertive (断定的)	中立を捨て、立場を明確にする。
	Narrative (物語性)	フック → 課題 → 洞察 → 証明 → アクション。

The Difference is in the Design

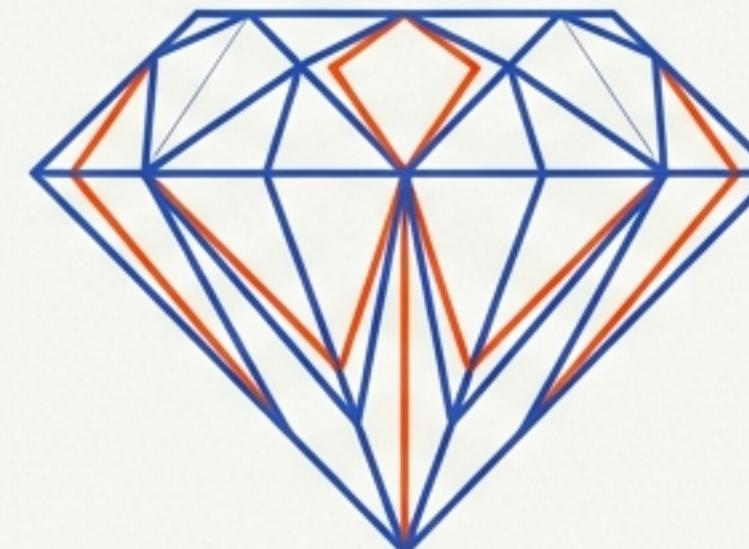
Amateur Prompt

「チームを良くするにはどうすればいい？」



Master Prompt (AIM + OCEAN)

「CEOとして振る舞って(A)。チームの沈黙を打破するため、ピクサーの『ブレイントラスト』(Expertise)を用いて会議構造を設計して(M)。OCEANフレームワークで断定的に記述して。」

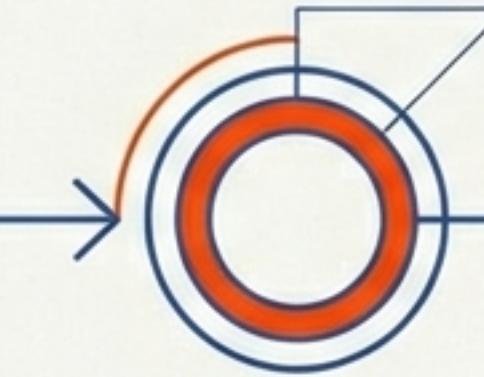


30-Day Mastery Roadmap

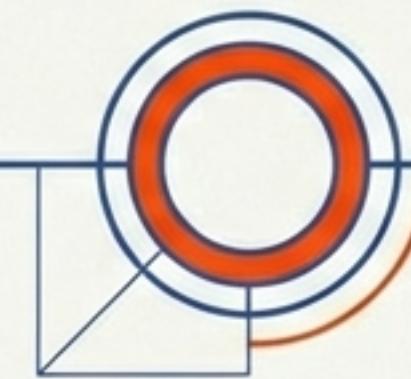
Week 1:
Machine English
(AIM Framework)



Week 2:
Context & Debugging
(MAP Framework)



Week 3: Expertise &
Verification
(Knowledge Edges)



Week 4:
Taste & Style
(OCEAN Framework)



最後の気づき



AIを訓練しているつもりが、実は「自分自身が訓練されている」ことに気づくはずです。

AIは人間の思考を奪うものではなく、取り戻すためのもの。

Start Day 1 Today.